

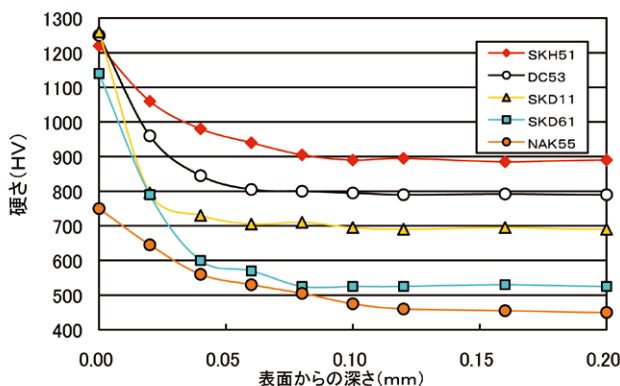
多様な窒化処理を受託加工していますが新たにラジカル窒化処理受託をラインアップし窒化処理受託を充実しました。

ラジカル窒化処理の特徴「処理面変化が僅かで綺麗」「PVD下地窒化に適用できる」等でPVD下地窒化(複合処理名:アミコートC)、プラスチック金型等に広く適用されています。

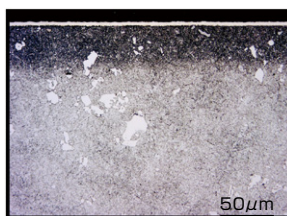
ラジカル窒化の特長

- 化合物層の無い窒化処理です。
- 窒化処理後の肌は処理前の面粗度(光沢)がほぼ変化無く表面状態が良好です。
- 低温処理(400℃～500℃)のため、適用可能鋼種が広く又、ラジカル処理による寸法変化は僅少です。
- PVD下地窒化適用でPVD硬質膜と基材硬度差をラジカル窒化処理硬化層が緩和しPVD処理効果を一段と向上させます。
(最適ラジカル窒化処理との複合PVD処理:アミコートC)

ラジカル窒化の硬さ分布



ラジカル窒化装置



DC53ミクロ組織(窒化層50μm狙い)
化合物層なく、約50μm窒化層
断面硬さ分布:図DC53を参照

↓ 調査用
↑ Niメッキ

有効寸法:φ600×600H
最大処理量:300kg